

講義科目名称： 看護教育学

授業コード： 6610000600

英文科目名称： Nursing education

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1・2学年	2単位	選択 CNS選択必修
担当教員			
◎山下暢子、服部美香、高林知佳子			
添付ファイル			

授業種類	<p>【開講】 後期 【授業時間】 30時間</p> <p>【担当教員】</p> <table border="0"> <tr> <td>【氏名】 ◎山下 暁子</td><td>【所属】 群馬県立県民健康科学大学</td><td>【メールアドレス】 yamashita@gchs.ac.jp</td></tr> <tr> <td>服部 美香</td><td>同上</td><td>hattori@gchs.ac.jp</td></tr> </table> <p>【本学の科目区分】 基盤看護分野</p> <p style="text-align: center;">【D P 1】 <input type="radio"/> 【D P 2】 <input type="radio"/> 【D P 3】 <input type="radio"/> 【D P 4】 <input type="radio"/> 【D P 5】 <input checked="" type="radio"/> 【D P 6】 <input type="radio"/></p>	【氏名】 ◎山下 暁子	【所属】 群馬県立県民健康科学大学	【メールアドレス】 yamashita@gchs.ac.jp	服部 美香	同上	hattori@gchs.ac.jp
【氏名】 ◎山下 暁子	【所属】 群馬県立県民健康科学大学	【メールアドレス】 yamashita@gchs.ac.jp					
服部 美香	同上	hattori@gchs.ac.jp					
1. 看護職者が教育的機能を発揮するために必要な要件を理解し、看護基礎教育・卒後教育・継続教育の場において系統的な教育活動を展開できる能力を修得する。							
到達目標							
授業概要	看護教育学の定義・理念・特徴などの理解を前提として、看護基礎・卒後・継続教育に存在する普遍的な要素を学修する。また、それらを前提として、学生個々の興味と関心に応じ、看護基礎・卒後・継続教育の提供に関わる各領域固有の知識・技術を学修するとともに、各領域における問題とその克服に向けた課題を検討し、今後の教育のあり方を展望する。尚、CNSコースの学生はこのうち、看護継続教育グループを形成し、看護ケアの質向上に必要な教育的機能に着目し、看護継続教育の問題と克服について検討するとともに、看護継続教育に必要な知識・技術として研修計画立案・実施・評価について学修する。						
授業計画	<p>1 授業内容 授業形態 : 講義 学修課題 : 授業の意義と学習方法の理解 学修内容 : 授業「看護教育学」の目的と展開 備考 : 山下</p> <p>2 授業内容 授業形態 : 講義 学修課題 : 看護教育学と看護学教育 学修内容 : 看護教育学の定義・理念・構造の理解、看護基礎、卒後、継続教育の理解 備考 : 山下</p> <p>3-4 授業内容 授業形態 : 講義 学修課題 : 看護職養成教育の制度 学修内容 : ●看護職養成教育の歴史と制度、大学と専門学校による看護職養成の共通点と相違点 ●看護卒後教育（CNS養成を含む）・看護継続教育（院内教育、認定看護師養成を含む）の歴史と制度 備考 : 山下</p> <p>5-6 7-9 授業内容 授業形態 : 講義と演習 学修課題 : 看護基礎・卒後・継続教育の問題とその克服 授業（研修）計画の作成と評価(1) 学修内容 : ●各自、基礎教育・卒後教育・継続教育のいずれかを選択し、現状の問題と克服について検討する。 * CNSコースの学生は継続教育を選択する。 ●授業（研修）計画の作成と評価に必要な基礎知識と技術 ・目的目標の設定・内容の精選と特定 ・一般教授技術の活用・教育評価など ●各自、授業（研修）計画作成・発表の準備として授業科目名、研修名を特定する。 備考 : 服部</p> <p>10 授業内容 授業形態 : 学習成果の発表と討議 学修課題 : 看護基礎・卒後・継続教育の問題とその克服 授業（研修）計画の作成と評価(2) 学修内容 : ●作成中の授業（研修）計画の目的・目標までを事前資料として提出し、その資料に基づき、進捗状況を発表し、討議・講評を行う。 *各自、課外学習として自主演習を行い授業（研修）計画案を作成し、15回目に発表する。 備考 : 服部 山下</p>						

	11-14	<p>授業内容</p> <p>授業形態 : 講義 学修課題 : 研究成果を活用した看護基礎・継続教育 学修内容 : ●研究成果を活用した看護学実習指導 ・看護基礎教育課程に在籍する学習者の特徴を反映した教育の必要性 ・実習中の学生の学習活動、直面する問題の診断と診断結果に基づく指導 ●研究成果を活用した看護職者のキャリア発達支援 ・成人学習者の特徴を反映した教育の必要性 ・看護スタッフの学習ニード、教育ニードの診断と診断結果に基づくOJTとOff JTの展開</p> <p>備考 : 山下</p>
	15	<p>授業内容</p> <p>授業形態 : 学習成果の発表と討議 学修課題 : 授業(研修)計画の発表・討議と講評 学修内容 : ●各自、作成した授業(研修)計画案の行動目標までを発表し、討議・講評を行う。</p> <p>備考 : 服部 山下</p>
事前・事後学習	<p>事前学修: 適宜、伝える。 事後学修: 15回の授業終了後、終了レポートを作成する。 テーマ: 「看護教育学」を通して学んだこと 様式: A4横書き 800字以内 (本文の最後に文字数を記入する)</p>	
評価方法、評価基準	到達目標に対して、発表および討議20%、終了レポート80%により評価する。	
テキスト	杉森みどり・舟島なをみ著, 2024: 看護教育学第8版, 医学書院	
参考図書・資料等	<p>Malcolm S. Knowles: 堀薫夫他(2015) : 成人教育の現代的実践、鳳書房. Malcolm S. Knowles: 堀薫夫他(2013) : 成人学習者とは何か、鳳書房. 舟島なをみ監修, 2015 : 院内教育プログラムの立案・実施・評価第2版, 医学書院. 舟島なをみ監修(2020) : 看護学教育における授業展開 第2版, 医学書院. 舟島なをみ監修(2024) : 看護実践・教育のための測定用具ファイル第4版, 医学書院.</p>	
受講、課題、資料配布等のルール	適時配布	
教員からのメッセージ	看護教育学への理解とともに研究の醍醐味についても伝えたいと思います。	
オフィスアワー	授業と会議時間を除く、平日の時間帯。メールにて事前連絡をお願い致します。	